

弐 議会だより 第 99 号

群馬県昭和村議会

令和2年10月15日 9月定例会



Contents

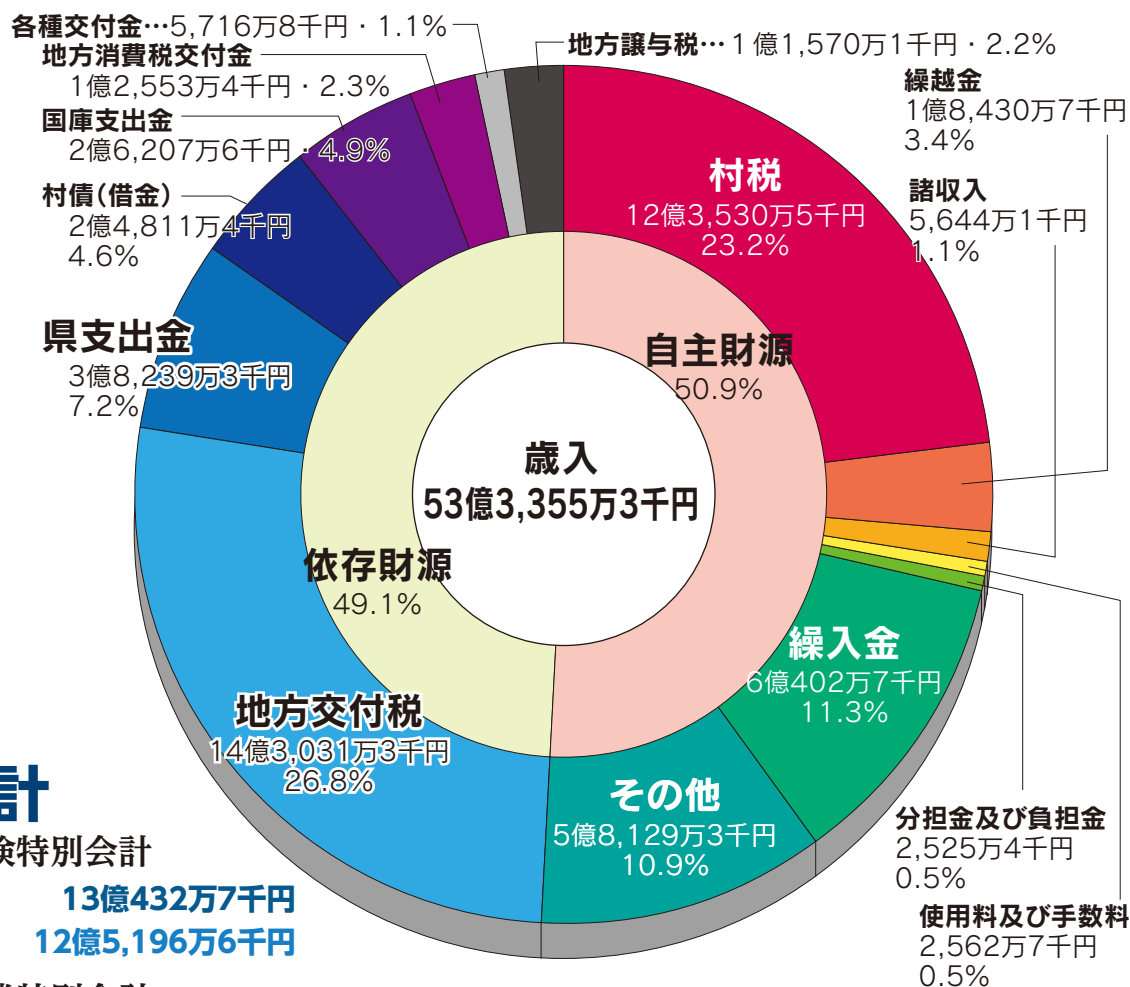
- 2～3 令和元年度決算認定
- 4～5 9月定例会
- 10～15 村の姿勢を問う

委員会を設置

9月7日、8日、11日の3日間で審査・質疑・採択を行いました。

一般会計 **53億3,355万3千円**
(前年度比21.8%増)

歳入



特別会計

国民健康保険特別会計

歳入 **13億432万7千円**
歳出 **12億5,196万6千円**

簡易水道事業特別会計

歳入 **1億7,113万円**
歳出 **1億5,503万3千円**

農業集落排水事業特別会計

歳入 **3億2,834万7千円**
歳出 **3億1,564万7千円**

介護保険特別会計

歳入 **8億7,442万8千円**
歳出 **8億4,786万2千円**

後期高齢者医療特別会計

歳入 **8,538万7千円**
歳出 **8,487万8千円**

財政運営の状況

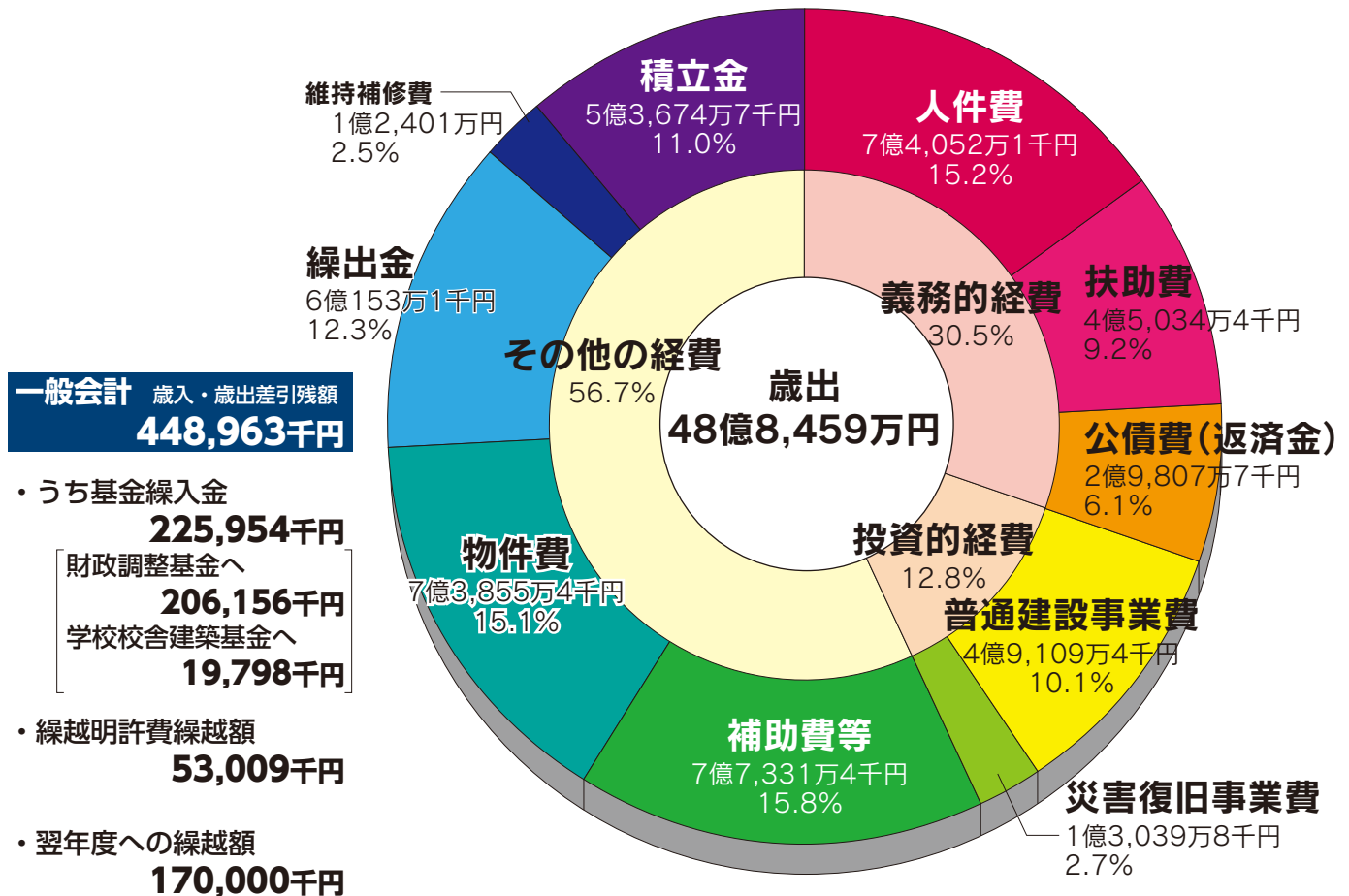
	29年度	30年度	元年度
財政力指数 地方公共団体の財政力の強弱を示す指数。1に近い(あるいは1を超える)ほど財政に余裕があるとされる。	0.423	0.440	0.460
経常収支比率 経常的な一般財源がどの程度経常的な経費に充てられているかを示す指数。数値が高いほど財政が硬直化し、70%~80%の範囲が望ましいとされている。	87.3	88.6	87.9%
公債費比率 一般財源の標準的な規模に占める公債費の比率。公債費は義務的経費であり、10%を超えないことが望ましいとされている。	2.1	2.3	2.9%
実質公債費比率 一般財源の標準的な規模に占める公債費のほか、公営企業会計や一部事務組合が負担する公債費、債務負担行為などを加味した比率。	5.0	5.6	6.0%

決算

決算審査特別

歳出

一般会計 **48億8,459万円**
(前年度比22.6%増)



決算審査行われる

8月18日、19日、21日

審査結果の統括的意見

代表監査委員 **金井 正夫氏**
監査委員 **加藤 生氏**

令和元年度昭和村一般会計及び特別会計歳入・歳出決算書、事項別明細書、財産に関する調書及び各種基金の運用状況を示す書類等について審査を実施した。

その結果、決算書並びに事項別明細書等は、ともに関係法令に準拠し、かつ、前会計年度と同一の基準に従って作成されており、計数も関係書類と符合し正確であり、決算内容も適正であると認めた。

また、収支状況、基金及び地方債残高が示すとおり、財政運営は健全であり、予算執行状況についても適正であると認めた。

今後も歳入面では、村税などの自主財源の確保に努め、有効な補助金等の活用を図り、歳出面では、引き続き効率的、かつ効果的な財政運営を目指した行財政改革を推進するとともに、

事業の必要性や効果について評価をし、限られた財源を有効に活用する中で、より一層の村民サービスの向上を図るよう要望する。



3日間にわたり行われた決算審査

9月定例会

今定例会は、9月4日から15日までの12日間の会期で開催されました。議案12件、認定6件、報告2件、発議1件の計21件が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。

人事

固定資産評価審査委員会の
選任同意

任期満了に伴い、横坂先
夫氏の再任に同意



(田岸)

条例改正

昭和村税条例等の一部改正

現行の寡婦または寡夫に
対する個人の村民税の人的
非課税措置を見直し、寡婦
またはひとり親を対象とす
る。また、所得控除を定め
る規定において、ひとり親
控除を対象として加える
等、規定の整理を行うため
の改正。

昭和村介護保険条例の一部
改正

新型コロナウイルス感染
症により、生計維持者が死
亡や重篤な傷病を得たり、
収入が前年比で10分の3以

上の減少となった方を対象
に、介護保険料の全部、ま
たは一部を免除するための
改正。

その他

地方創生道整備交付金事業
村道森下赤城原線道路改良
工事(道の駅駐車場 契約の
締結

道の駅駐車場の拡張工事
に係る工事請負契約を議決。

請負業者

石坂建設株式会社

代表取締役 諸田光二

契約金額

7150万円

農山漁村地域整備交付金

農業集落排水事業(機能強
化)糸井・三ツ谷地区処理

施設改修工事契約の締結

糸井・三ツ谷地区処理施
設改修工事に係る工事請負

契約を議決。

請負業者

株式会社ヤマト

代表取締役社長執行役員

町田豊

契約金額

1億6170万円

補正予算

令和2年度一般会計補正予
算(第4号)

増額
1億3830万6千円を

総額

55億7832万1千円

ふるさと納税の寄附額が

増えたことによる特産品返

礼品代の増、特殊詐欺対策

のための電話機購入費補助

金の創設、農業用ハウス強

靱化緊急対策補助金の確

定、消火栓の修繕及び地上

式消火栓の購入などに伴う

増額等。

令和2年度国民健康保険特
別会計補正予算(第1号)

393万4千円を増額

総額

12億5444万1千円

新型コロナウイルス感染

症関連における傷病手当金

の創設及び保険税減免分を

還付するための増額等。

発議

新型コロナウイルス感染症
の影響に伴う地方財政の急
激な悪化に対し地方税財源
の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染
症の拡大は、甚大な経済的・
社会的影響をもたらし、国
民生活への不安が続いてい
る。

地方自治体は、長期化す
る感染症対策にも迫られ、
今後の地方財政はかつてな
い厳しい状況になることが
予想されるため、令和3年
度地方財政対策及び地方税
制改正に向け、地方税財源
の確保を求める意見書を提
出する。

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、

内閣総理大臣、財務大臣、

総務大臣、厚生労働大臣、

経済産業大臣、内閣官房長

官、経済再生担当大臣、ま

ち・ひと・しごと創生担当

大臣



臨時会

8月7日、令和2年第3回昭和村議会臨時会を開催。専決処分事項の承認を求めることについて

令和2年度一般会計補正予算(第3号)

1億824万8千円を

増額

総額

54億4401万5千円

新たな生活様式導入給付金を一人当たり5千円支給し、国の特別定額給付金の対象とならなかった新生児に対して10万円を支給。また、学童保育所の空調換気対策及び外国人の入国制限等で人手不足となった農業者への支援等、新型コロナウイルス感染症関連の増額等。(承認)

昭和村国民健康保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合における国民健康保険税の減免基準について定める改正。(承認)

みなさんからの請願・陳情

自 令和2年8月3日 至 令和2年8月25日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
19	R 2. 8. 3 (郵送)	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について(依頼)	群馬県前橋市元総社町335-8 群馬県町村議会議長会 会長 仲澤太郎		総務 民生	採択
20	R 2. 8. 25	村道中野5号線(約375m)の道路改修工事のお願い(請願書)	中野区長 林 義昭	片柳悦夫 林 勝美	文教 産建	採択
21	R 2. 8. 25	「日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書」の提出を求める請願書	群馬県沼田市坊新田町1106 戦争させない利根沼田実行委員会 会長 都築 靖	林 幸司	総務 民生	趣旨 採択

提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。		沢浦典子	林勝美	倉沢つかさ	阿部孝司	片柳悦夫	林祐司	藤井貞充	加藤生	林幸司	横坂末吉	永井一行
第4回定例会(令和2年9月4日～15日)												
議案第41号	昭和村固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第42号	昭和村税条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第43号	昭和村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び昭和村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第44号	昭和村介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第45号	地方創生道整備推進交付金事業 村道森下赤城原線 道路改良工事(道の駅駐車場)契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第46号	令和2年度昭和村一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第47号	令和2年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第48号	令和2年度昭和村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第49号	令和2年度昭和村農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第50号	令和2年度昭和村介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第51号	令和2年度昭和村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第52号	令和2年度 農山漁村地域整備交付金 農業集落排水事業(機能強化) 糸井・三ツ谷地区処理施設改修工事契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第1号	令和元年度昭和村一般会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
認定第2号	令和元年度昭和村国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
認定第3号	令和元年度昭和村簡易水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第4号	令和元年度昭和村農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第5号	令和元年度昭和村介護保険特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第6号	令和元年度昭和村後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告第4号	株式会社あぐりーむ昭和の経営状況報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告第5号	令和元年度昭和村健全化判断比率等の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第3号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

全員協議会

7月・8月・9月に開催した全員協議会での主な協議内容は以下のとおりです。

7月10日

地方創生臨時交付金実施計画について

国は、コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として第1次と第2次補正予算を合わせ総額3兆円を確保した。これを受け、本村には2億1468万円が交付されることとなり、その活用方法について関係各課から説明を受けた。主な事業は、「新しい生活様式」への対応のための費用として、全村民を対象に一人当たり5千円を支給する事業など。

なお、この件に関する予算措置は、補正予算を計上し、専決処分にて行いたい旨の説明が村長よりあり、早急に対応すべきことと判断し、了承した。

8月27日

㈱あぐりーむ昭和の経営状況報告について

令和元年度「第4期」の経営状況と事業の執行状況の報告を受ける。売上げは、前年比3・5%の増、売上高は、3億5千万円を超え、順調に伸びているとの説明を受けた。

なお、今年の夏はトウモロコシ迷路が盛況だったことなどもあり、旬菜館の8月の売上げが過去最高を記録したとの報告を受けた。



村道森下赤城原線道路改良工事(道の駅駐車場 契約の締結について)

道の駅あぐりーむ昭和の駐車場拡張工事を施工する業者が石坂建設㈱に決まり、請負金額7150万円で請負契約を締結したい旨の説明を受けた。

新庁舎建設委員会の報告と今後の予定について

8月20日に開催された昭和村新庁舎建設委員会の結果報告と今後の予定について説明を受けた。

新型コロナウイルス感染症対策について

一人当たり10万円を給付した特別定額給付金の執行状況(ほぼ100%)や、一

人当たり5千円を給付した「新しい生活様式」導入支援給付金などの執行状況について説明を受けた。

令和元年度健全化判断比率に関する報告について

村財政の健全化の指標の一つである実質公債費比率(一般会計等が負担する公債費等の大きさを示す指標)が6・0%であり、昭和村の早期健全化基準の25%を下回っているため、現在の財政は健全である旨の説明を受けた。

昭和村税条例等の一部を改正する条例について

個人住民税では、ひとり親家庭に対し、同一の「ひとり親控除」(控除額30万円)を適用する改正などの説明を受けた。

昭和村立小中学校GIGAスクール構想校内LAN整備工事について

小中学校4校に設置する予定のLANケーブルやアクセスポイントについて、設置方法やスケジュールな

どの説明を受けた。

昭和村総合公園グラウンドゴルフ場整備工事について

現在のグラウンドゴルフ場は、傾斜がきつく雨が降ると溝ができてしまうため、傾斜を緩くする改良工事を行いたいとの説明を受けた。



9月11日

新庁舎建築に関する各種報告について

新庁舎建設工事に先立ち、新たな公用車駐車場用地や現在の役場敷地についてなど、進捗状況等の説明を受けた。

なお、公用車駐車場工設計画監理及び新庁舎建設実設計業務について、基本設計を行った(株)福島建築設計事務所にて委託したい旨の説明があり、了承した。

特殊詐欺対策機器等購入費補助金について

電話等を使った「ふりこめ詐欺」被害を防止するため、電話機に会話を録音する機能などを備えた装置を設置した65歳以上の者で補助要件を満たしている者に対し、購入費用の1/2の額(5千円を限度)を補助する制度を制定し、補正予算に計上した旨の説明を受けた。



昭和村介護保険条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少等、一定の条件に該当する第1号被保険者(65歳以上)の保険料の減免が行えるよう条例を改正する旨の説明を受けた。

農業集落排水事業 糸井・三ツ谷地区処理施設改修工事契約の締結について

糸井・三ツ谷地区集落排水処理施設の改修工事を施工する業者が(株)ヤマトに決まり、請負金額1億6170万円で請負契約を締結したい旨の説明を受けた。

ふるさと納税の寄附の状況について

8月末現在の申込件数5340件、申込金額約2億6千万円(前年同時期の約5・5倍)であり、順調な状況にある。これにより、返礼品関係の歳出予算が不足することが予想されるため、1億6百万円を補正予算に計上したい旨の説明があり、了承した。

ふるさと納税返礼品の一例

無添加手作りほしいも



旬の野菜セット



朝採りとうもろこし



非加熱純粋生はちみつ

季節の果物



群馬のいちご「やよいひめ」



総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

請願等を審査 1件を採択 1件を趣旨採択

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出についてを審査

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらし、国民生活への不安が続いています。この中で、地方税・地方交付税の大幅な減少等により、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想されます。

このような状況において、地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくためには、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実を強く国に求めていくことが不可欠である旨の陳情を採択し、意見書を提出することとしました。



新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっています。

本村、昭和村はもとより地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想されます。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望します。

記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実させてください。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保していただきたい。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保していただきたい。

3 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応していただきたい。

4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断していただきたい。

5 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないでください。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了していただきたい。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月15日

衆議院議長 大島 理森 様
外9名

群馬県昭和村議会
議長 永井 一行



「日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書」の提出を求める請願についてを審査

日米地位協定は、日本の社会環境が大きく変化しているにもかかわらず、締結されて以来、一度も改正されていません。

米軍から派生する様々な事件・事故等から地域住民の生命・財産と人権を守り、根本的な解決のためには、日米地位協定を抜本的に見直す必要があります。全国知事会が政府に要請した提言を速やかに実行することを旨とする請願であります。この問題は、国対国における高度な外交問題であるため趣旨採択としました。

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

請願1件を審査

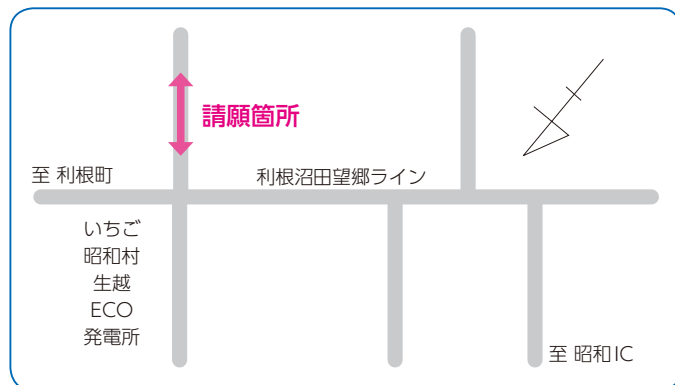
村道中野5号線(約375m)の道路改修工事を求める請願書を審査

当該村道は、度々の集中豪雨により道路が水路となり、通行不可能な状態で、下流部の畑に悪水が常に流入しており、大雨ごとに地域の人々が修復しているのが現状である。このことから、平成28年に請願が出されたが境界も確定していないことなどから、早急に改修工事することは難しいとのことであった。そのため、当時は趣旨採択とした経緯がある。

それらを踏まえ委員会としては現地調査を実施し、その後審査を行い、地元地域の方々や耕作者が早期に村道として復旧し通行できること。そして、農作物に被害が出ないことを強く望んでおり、再度、中野区長から請願があったことから、賛成多数で採択とした。



地元区長らから現地にて説明を受ける





沢浦典子 議員

田の放棄地の対応について

議長 解決には地域ぐるみの活動が有効

問

田の放棄地が増えてきている。草が伸びてスズメや害虫の発生により近隣の田んぼに悪影響を与えている。また、草がなぜ道や水路をおおってしまうため、通行や水路利用者にも支障をきたしている。道路愛護の作業だけでは賄いきれない状況を、村としてどのように考えているのか。

答
村長

農地の適正な管理により、耕作放棄地の発生を防止することが重要であると考えています。農業委員会では、毎年農地パトロールを実施し、荒廃農地の把握等を行っています。また、村では、株式会社あぐりーむ昭和とタイアップし、水田活用事業を実施し、一部耕作放棄地対策を行っています。しかし、田んぼの耕作放棄地は、持ち主の高齢

化、後継者不足等の要因により年々増えてきているのが現状です。耕作放棄地対策は全国的な問題であり、村としても対策を検討していますが、解消には苦慮しています。やはり解決には地域ぐるみの活動が有効だと思います。

問

村が把握している荒廃農地の対策はどうしているのか。また、近隣耕作者からの苦情等は来っていないのか。

答
村長

できたら作ってもらえたらありがたいなという相談をする方はいます。そんな中で一年間無償で一部を借り、田んぼを作って学校給食に提供する取り組みをしてきました。村がしていることであっても、結果的には人にお願いをしなくてはなりません。ですから、農業のそういったことの取

り組みができる可能性がある人を探しながら対応できればと思っております。



耕作されていない農地から道に張り出している雑草





倉沢つかさ 議員

SDGs
(エスディジーズ)

昭和村の取り組みと目標は

村長 村に合った目標に向けて取り組む

伝染病対策における予防接種事業や各種健康診断の実施、健康増進や公衆衛生の向上に努めています。高齢者の心の健康については、各地区の民生委員さんとの連携や、地域包括センター職員の

答 村長

17項目の中の3番目「すべての人に健康と福祉を」に絞り、目標達成までに村民一人ひとりが健康に暮らし、平等に福祉を受けられるための取り組みを伺います。

また、コロナ禍の中、外出自粛により夏休みの帰省が減少し、老夫婦や一人暮らしの方は楽しみが減ったり不安になったりすると思うが、心の健康を保つ対策を伺いたい。

問

SDGsとは、2015年に国連で採択された2016年から2030年までに世界が達成すべき持続可能な開発目標を表したものです。

SDGsとは、2015年に国連で採択された2016年から2030年までに世界が達成すべき持続可能な開発目標を表したものです。



アレチウリ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



訪問などにより、対応をしています。

村民が安心して生活できる村づくりを、SDGsを通して推進していきたいと考えています。

村内の外来生物の現状と駆除費用に補助を

問

村内には、外来生物が繁茂し、農業・景観に大きな影響を及ぼしています。駆除には、時間と費用がかかります。特に、特定外来生物に指定されている「アレチウリ」の勢力は計り知れません。

答 村長

昭和村の外来生物のうち、アレチウリについては村内全域で生息を確認していますが、完全な駆除は難しい現状です。

被害予防の三原則「入れない・捨てない・広げない」を推奨し、村民の皆様にご協力をお願いするとともに、駆除に関する支援策は現在ありませんが、関係機関と連携しながら検討したいと思っています。

新型コロナ禍の中、 村財政に与える今後の影響は



加藤 生 議員

村長 財政運営は、バランスを見極めて

問

戦後最悪のGDPが28%減とされています。自主財源の少ない本村にあつては令和3年度予算に当たっては、庁舎新築もあり、極力支出を抑えた形になるものと思われませんが、村長・総務課長は如何お考えですか。

答 村長

近年の村の予算規模を見ると当初予算は40億円程度で組み、その年の状況に合わせて補正予算を組み入れて運営しております。令和2年度は、ふるさと納税・特産品返礼事業の好調もあり43億円を上回る当初予算を計上しましたが、今回の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、9月の補正前で54億円を超える予算規模での対応をしております。

現在、新庁舎建設は設計段階に入っております。令和3年度には建設工事に入ることから、大

答 総務課長

型予算になると感じております。また、このコロナ禍の中で経済活動が萎縮しており、税収が落ち込むであろう事は想像されます。

今後の財政運営については、国・県・各市町村の状況を調査し、バランスを見極めていきたいと思っております。

地方交付税については、基準財政需要額の算定が重要となってくることから、今回のコロナ対策による国の費用の増大が、将来の地方交付税にどう影響してくるのか懸念しております。

近年は、事業も多岐にわたり、経常的に支出しなければならぬ費用も多いため、新庁舎建設については庁舎整備基金の積み増しを検討していきたいと考えています。

道路行政について問

問

幹線道路やその他道路に外側線の消滅が目立つが今後の対応は。また、改良の進まない幹線道路、数少ない県道改良についての考えは。

答 村長

外側線については、各区から要望のあった箇所や建設課がパトロールをする中で、優先的に引き直した方が良いと思われる箇所から順次実施しています。

昨年度は、外側線等を5445メートル引き直しております。

本年度も同様に実施し、今後も引き続き毎年予算を確保して実施したいと考えております。

幹線道路については、平成30年度に修繕計画を策定し、路面のひび割れ状況や平坦性等の路面状況を数値化しています。



施工後



外側線を引く前の道



林 勝美 議員

耕作放棄地の発生原因と 活用方法について

村長 地域ぐるみの活動が有効、
今後とも継続をお願いしたい

問

田んぼに於いて耕作放棄地が増加しています。道の駅めぐりむ昭和や清流の会ではその田んぼを引き受けて、米を作付けており、増加に歯止めをかけています。昭和村の田んぼは湿田が多く、耕作を諦める地主も多いと聞いています。その湿田を改良すれば田んぼの利用者も増えると思われれます。その事について村長はどう考えていますか。

答 村長

農業従事者の高齢化や土地持ち非農家の増加により、条件の悪い田んぼの引き受け手が不足し耕作放棄地が増加していると思われれます。道の駅めぐりむ昭和や清流の会の活動が大変有効な取り組みになっているので、今後とも継続をお願いします。

問

条件の悪い湿田の改良について考えていますか。

答 村長

一度土地改良が済んでいる箇所はもう一度やり直しは考えていませんが、どういう方法があるのか研究をしていきたいと考えています。



望郷ライン沿いの管理について

問

望郷ライン沿いは村の観光道路であり、村の良さをアピールする場所です。この道路をさらに魅力ある観光道路にする必要があると思うが、村長の考えをお聞かせください。

答 村長

各種団体等の植栽により、きれいな花々が咲き誇り、眺望と相まって見事な景観を生み出していると、いつも拝見しています。この景観をさらに向上させていくには、道路敷の整備も必要ですが、隣接する畑や山林の適切な維持管理も重要となります。

村の第5次総合計画では、村道の維持管理はできる限り地域参画型、各種団体等の協力を得ながら進めるとございます。魅力ある道路に向け、みなさんにさらなる美化活動等に取り組んでいただ



※多面的事業の一環でコキアを植える

ければ、たいへんありがたいと考えております。

※多面的機能支払交付金事業とは

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する事業です。

①農地維持

農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的保全活動を支援

②資源向上

水路、農道等の軽微な補修、植栽による景観形成等の共同活動を支援



林 幸司 議員

片品川の洪水ハザードマップ作成を

議長 避難所変更・警戒レベル修正を含め防災マップを更新します

答 村長

昭和22年のカスリーン台風で吹張の堤防が決壊し10戸が、三ツ谷地区でも5戸が流失・埋没する甚大な被害を受けました。その後、ダムや堤防も整備されましたが、二度と起こらないよう、今年度予算で防災マップを更新する予定です。避難勧告の発令は包括的に判断し、基準も検討していきたい。高齢者等の支援者名簿と避難支援計画は作成済みで備えています。現在の防災組織は入原、川額、常木、赤城原のみですが、5年間の活動費補助も開始し、理解と協力を得ながら設置を推進していきます。

問

糸井河原・三ツ谷地区の洪水被害の教訓から、洪水ハザードマップ作成、避難行動要支援者対策、自主防災組織の推進策について伺いたい。

小中学校統廃合は急がず慎重に検討を

問

2年任期の学校在り方検討委員会は、コロナで進捗は無理。10年スパンで検討すべきです。

小中一貫校の現状は、築30年の昭和中学校舎の大規模改修を求めます。

答 教育長

検討委員の任期1年間延長を考えています。小中一貫義務教育学校は、来年度から太田市で県内初の開校が予定されています。小学校統廃合については、検討委員会で検討し、慎重に考えていきたい。中学校の改修も、小学校と併せて、在り方検討委員会で検討します。



全国の小中学校数

学校別	総数
中学校	10,222校
小学校	19,738校
小中一貫校	94校

コロナ対応で少人数学級を

問

コロナ対応で、マンパワー増員の現状と、20人程度の少人数学級実現への尽力を求める。

答 教育長

国県の予算で各校1名の学習指導員配置が決まっていますが、少人数学級は、学校現場の長年の要望であり、実現に結びつくならば有りがたいと思います。



左の写真は、「学校の在り方検討委員会が昨年、みなかみ町の小中統廃合と新治小を視察研修」した時のもので、みなかみ町教育長から説明を受けています。



藤井貞充 議員

多面的機能支払交付金事業に対する見解は

村長 農地等の保全管理に有効的と考える

答 村長

多面的支払交付金事業は、各地域の実情に即した農地等の保全管理や、良好な景観形成の向上に有効的な事業となっているのではないかと考えております。

また、各組織において有効的かつ機動的な事業として推進していただければありがたいと考えております。



問

村の多面的機能支払交付金事業は、昨年度から11組織となり活動してまいりました。農道への悪水の流入を止めたり、景観の改良を図るなど今まで多くの事業を行い地元役に立っていると思います。

この事業についての村長の見解を伺いたい。

問

村の認定道路の維持管理における村道への交付税額はいくらか。

また、水路兼農道のひび割れが多数発生し、農耕車両の運搬に支障があるが、建設課長の考えを伺いたい。

答 建設課長

交付税は、基準財政収入額と需要額との差し引きにより交付されるものですが、道路・橋梁の延長、面積から算出された需要額は3億6千万円余であり、昨年度実施した認定道路の維持補修工事金額は2億6百万円余となっております。

また、舗装路面の横断的なひび割れについては、簡易的な補修では非効率であり、今後は段階的に舗装し直すことも必要ではないかと考えております。

文化財保護について

問

県指定史跡の長井坂城址は沼田盆地から関東平野に抜ける要地にあり、北条氏の沼田攻略の拠点でありました。

また、江戸時代になると沼田街道が通り、かつては多数の人馬が行き来したところですが、この史跡の保存について考えを伺いたい。

答 教育長

昭和56年に県指定史跡となり、平成4年度に県の土地改良事業工事に伴う城跡の文化財試掘調査が行われ、薬研堀などの貴重な文化遺跡が確認されました。これを契機に旧赤城村との共同による長井坂城址保存整備基本構想計画を平成10年に策定しました。

貴重な文化遺産を保存管理していくことは大切なことです。地権者や地元住民等の協力を図

りながら、城址の整備も含め調査・研究をしていきたいと考えております。



地域でがんばる



二人仲良く70年

金井吉之助さん

松 枝さん



(鎌沢)

森下の金井さんご夫妻。御年92歳を迎えた吉之助さんに、奥様松枝さんと共に歩んだ人生の道のりについてお尋ねしました。

お二人は、小学校からの知り合いで昭和26年に結婚。三人の子供に恵まれ、現在は長男夫婦と暮らしています。若いころから、仕事の傍ら野球をし「朝日クラブ」発足の第一人者でもあります。還暦野球は、選手・監督と24年間携わり、今でも健康な体を維持しグラウンドゴルフ・輪投げなどに励んでいます。輪投げは、松枝さんもチームに加わり、郡・県大会に何度も出場しました。

毎日の日課は、犬の散歩・晩酌・畑仕事・家業の手伝い。いろいろな野菜を作り、近所の方におすそ分けをして喜ばれています。

週に何回かは「昭和の湯」に行き、人とのコミュニケーションを楽しみ、新聞は毎日、隅から隅まで目を通し、社会情勢や今起きていることを意識して吸収しています。

「二人でいるから元気でいられる」お二人は、常に相手の健康を思いやり、普通の暮らしに感謝して生活しています。二人で歩んだ道のりには苦労もあったかと思いますが、たくさんの経験は、次世代の方々の生きる力、昭和村の未来へとつながる力になると思いました。



お知らせ



今年度の議員出前懇談会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とさせていただきます。
なお、村民みなさまのご意見を伺うアンケートを計画しております。



編集室から

稲穂が金色に色づき、トンボがぎやかに飛ぶ様子が見られる季節になりました。

でも、運動会やお祭り等のイベントが中止になり、さみしい秋になりました。

そんな中でも、楽しいことを探してみませんか。

たとえば、早朝の散歩はともお勧めです。

コロナ禍の工夫の一つとして、議会だよりをお楽しみ頂ければとても嬉しいです。

沢浦典子 記

議会広報編集特別委員会

委員長 阿部 孝司

副委員長 沢浦 典子

委員

片柳 悦夫 林 勝美

倉沢つかさ 横坂 末吉

永井 一行